



6/16 放送コンテスト全国大会出場決定 長陽中学校出身 村上満帆さん・後藤綾佳さん

熊本高校で開催された「第60回 NHK 杯全国高校放送コンテスト県大会」(359人出場)で、長陽中出身の村上満帆さん(東稜高2年)が、アナウンスの部で優勝、後藤綾佳さん(大津高2年)がテレビドキュメントの部で3位に輝き、7月22日から東京で開催される全国大会への出場が決まりました。

村上さんは、自校の数学研究同好会の活躍を紹介。後藤さんは、新聞に投書した自校の生徒や新聞社へのインタビュー、ドキュメントを制作紹介しました。

全国大会に向けて村上さんは「県代表として自信を持って頑張ります」、後藤さんは「作品を見て、審査員の方には色々と感じていただければ」と意欲を話してくれました。



優勝した村上満帆さん(左)と3位の後藤綾佳さん

6/14 永年のトラック運送に表彰状 加藤勝徳さん(白川)

全国トラック協会の「全ト協表彰規定による表彰」が、ホテル熊本テルサで行われ、白川区の加藤勝徳さんが「運転者および従業員の部」で表彰されました。

加藤さんは、40年以上運送業に勤務。妻、教子さんの手作り弁当に支えられて全国各地を回られました。30年前には、本村のトマトを福岡県に配送中洪水に遭い、ダンプカーの運転手に助けられたという恐ろしい経験も。

現在、(株)熊本あおぞら運輸に勤務されている加藤さんは、「40年が迎えられ安心しました。これから益々頑張ります」と喜びを話されました。



受賞者代表で表彰状を受け取られる加藤勝徳さん

6/27 火遊びは絶対にしません 園内消防大会開催

6月26日から27日にかけて長陽・立野・長陽西部保育所の園内消防大会が開催されました。

梅雨時期のみ立野保育所と合同運営している長陽西部保育所では、お揃いの法被に身を包んだ園児12人が、凛々しい姿で防火の誓いを述べ、日ごろ練習した「ミニ腕用ポンプ操法」を披露しました。アトラクションでは、白衣に身を包んだ園児たちによる救急隊員7人が担架を担いで駆け付ける人命救助や、ちびっこ消防隊(3歳児)12人が、かわいらしいダンスを披露し、会場からは拍手が送られました。



法被に身を包み凛々しい姿の園児たち

6/20 夢のある農業経営を目指して 家族経営協定書締結式

本年度の「南阿蘇村家族経営協定書締結式」が久木野庁舎で行われ、長野村長立会いのもと、3組の夫婦が協定書に署名しました。

同協定は、家族間で農業経営に対する取り決めをすることで、意欲や責任のある家族農業経営を目指すことが目的。協定書には役割分担や労働時間、報酬などの取り決めが記されています。

今春、益城町から本村に移住された大森博さん・陽子さんご夫妻は「地域の方にいろいろと相談しながら取り組んでいきたいと思います」と意欲を語られました。



家族協定を締結された今村康太さん・美穂さん夫妻(左前列)、大森博さん・陽子さん夫妻(中央後列)、甲斐誉幸さん・久代さん夫妻(右前列)と長野村長(左)、安達農政課長

7/1 長年の地方自治功労に叙勲 高月一喜さん(栃木)

高齢者叙勲の伝達式が久木野庁舎で行われ、栃木区の高月一喜さんが旭日単光章を受章されました。

高月さんは昭和58年から平成7年までの3期(12年間)にわたり旧長陽村の議会議員に在職。その間、文教観光常任委員会委員や、厚生労働常任委員会、文教観光常任委員会の委員長を歴任され村行政の発展に尽力されました。

受章した喜びを高月さんは「思いがけない受章に恐縮しています。余生、身を処しながらできることは頑張りたいと思います」と話されました。



受章された高月一喜さん

6/30 剣道大会シニアの部2連覇 第58回熊日旗争奪県下一般剣道大会

荒尾市民体育館で開催された第58回熊日旗争奪県下一般剣道大会・シニアの部(男子50歳以上・女子45歳以上)で、阿蘇郡市剣道連盟が2連覇を果たしました。

試合は3人制で行われ、阿蘇郡市剣道連盟は決勝戦で合志市剣道協会と対戦。中堅と大将が連取し、勝利を収めました。

中堅を務めた清水朗さん(吉田一)は、「阿蘇郡市代表で出場し、プレッシャーを感じましたが、2連覇を果たすことができ、肩の荷が下りました。チームに貢献できてよかったです」と優勝の喜びを話されました。



2連覇を納めた阿蘇郡市剣道連盟(中央が清水朗さん)

7/4 永年の人権活動に感謝状 藤本正則さん(東下田)

人権擁護委員の退任に伴う感謝状贈呈式が久木野庁舎で行われ、東下田区の藤本正則さんに、熊本地方法務局阿蘇大津支局の中川そよ支局長から感謝状が手渡されました。

藤本さんは、平成13年から25年までの12年間(4期)にわたり村人権擁護委員を務め、その間、阿蘇人権擁護委員協議会会長や、阿蘇大津人権擁護委員協議会副会長を歴任、人権活動の普及高揚に尽力されました。

退任にあたり藤本さんは「十分な仕事ができなかったことを悔みます。これからの南阿蘇が素晴らしい村となることを願っています」とあいさつされました。



感謝状が贈られた藤本正則さん

7/2 犯罪や非行のない明るい社会を 社会を明るくする運動強化月間

7月の「社会を明るくする運動強化月間」に伴い、阿蘇地区保護司会南部分会と村女性会のキャラバン隊17人が、村内3中学校で啓発活動を行いました。

この取り組みは、罪を犯した人たちの社会復帰を地域で支え合い、犯罪や非行のない明るい社会を築くことを目的に、昭和26年から全国で取り組まれている運動です。

久木野中学校では、登校する生徒たちに「社会を明るくする運動です」と呼びかけ、薬物の恐ろしさについてのパンフレットなどが一人一人に手渡されました。



啓発活動に取り組むキャラバン隊の皆さん



7/12 100歳おめでとうございます 長尾ケイさん（一関一）

100歳の誕生日を迎えられた長尾ケイさんのお祝いが特別養護老人ホーム水生苑で行われ、長野村長から表彰状と記念品が手渡されました。

長尾さんは大正2年7月12日生まれ。以前は、茶道や華道、料理の先生をされていたそうです。健康のために食事は魚料理が多く、カルシウムを採るために、骨まで食べられる料理をよく作られていたそうです。

100歳を迎えて親族の長尾秀弘さんは、「100歳を迎えることができ感謝いたします」と、喜びのあいさつをされました。



100歳を迎えられた長尾ケイさんと親族の皆さん

7/11 夏の思い出づくり 母と子どもたちのサークル「ブルー・ビーズ」お楽しみ会

母と子どもたちのサークル「ブルー・ビーズ」主催の、お別れ会を兼ねた「お楽しみ会」が「わくわく広場」（長陽保健センター）で開催され、村内の親子約20人が、夏の思い出づくりをしました。

会場では、浴衣や甚兵衛を着た子どもたちが集合すると、早速屋外に設置した家庭用ビニールプールで水遊び。その後、スイカ割りや「ポン菓子」作りの実演が行われ、初めての「ポン菓子」作りを見た子どもたちは大きな音に驚いていました。



水遊びに夢中になる子どもたち

7/2~9/1 赤毛のアン翻訳者「村岡花子生誕120周年記念展」開催 白水郷美術館

多くの読者に感動を与えた「赤毛のアン」の翻訳者、故村岡花子さんの生誕120周年記念展が、9月1日まで白水郷美術館で開催されています。

村岡さんは、「赤毛のアン」を翻訳された初の日本人。会場には、村岡さんの孫、村岡美枝さんと恵理さん（東京都）が運営する「赤毛のアン記念館・村岡花子文庫」の協力を得て集めた村岡さんの写真や作品、映像などが展示されています。

来春には、村岡恵理さん著書の「村岡花子の生涯 アンのかげ」がNHK朝の連続テレビ小説で放映されることが決定しています。



村岡花子さんの生涯を物語る作品の数々

7/17 全国大会に進出 くまもと清陵高等学校 軟式野球・バドミントン

6月9日と17日に開催された「県高等学校定時制通信制総合体育大会」で、三度目の優勝を飾った本村の通信制高校「くまもと清陵高等学校」野球同好会と、女子個人戦で優勝、準優勝、4位に輝いたバドミントン同好会（女子）が、8月に開催される全国大会への出場が決定し、その報告に久木野庁舎を訪れました。

全国大会に向け野球同好会のキャプテン大木戸拓矢さん（3年生）は、「一試合でも多く勝つことを目指します」と抱負を述べ、バドミントン同好会のキャプテン西野由樹さん（2年生）は、「全力を尽くし勝ち進みます」と意気込みを話してくれました。



全国大会に出場する清陵高校の生徒たちと監督・教諭の皆さん